

緑 風 矢嶋 翼・岩田 典一・金澤 俊・木村 司
竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久

矢嶋 翼 議員



☆駅前活性化について、医療・福祉施設が集積するまちなかへ、

高齢者の居住を進めるべきとの提案に、さらに利便の向上策に取り組みと答弁がありました。

☆外部監査の導入について、現在2名の監査委員に税理士などを増員し、機能強化すべきとの提案に、他市も導入しており、調査検討すると答弁がありました。

☆命と献血の学習について、命の大切さと自殺予防の教育、さらに献血によって救われる命がある事を学ぶ授業をすべきとの提案に、「こころの授業」として小・中で、自殺予防は道徳の時間で実施。献血の学習は血液センターに講演を依頼すると答弁がありました。

岩田 典一 議員

☆行政視察で訪れた境港市は人口約3万5千人と小さな町ですが水木しげるロードには、年間国内外から約200万人が訪れており、



中国地方でも有数の観光地となっています。ピークの2010年

には350万人の観光客が訪れ、経済効果額150億円と試算されています。現在「妖怪のまち」の賑わいを将来に向け、引き続き安定的なものとするため、また、観光客の利便性などを考慮した大規模なリニューアル事業に着手しています。苦小牧市も駅前中心市街地に以前の賑わいを少しでも取り戻すためにもまずは、エガオビルの一日も早い具体的な取り組みが求められています。

金澤 俊 議員



☆小中一貫教育の導入に向け大きな一歩！今回は、教育委員会

から小中一貫教育導入に向けて、30年度を目途に内部検討組織を立ち上げることが示されました。私がこの小中一貫教育の導入を

議会において提案し続けて数年が経過しましたが、ここに来て大きな前進となりそうです。

小中一貫教育導入のメリットは、いわゆる「中一ギャップ」の解消による学力向上や不登校対策などがあげられ、他の先進自治体では、その効果が既に確認されています。

将来の苦小牧を背負う子ども達の限らない未来のために、今後教育制度改革、とりわけ小中一貫教育の導入に力を注いでいきたいと思っています。

木村 司 議員



総務委員会において、CAP3について質疑しました。少子高齢

化・人口減少時代を迎え、《持続可能な街づくり》実現のために23年度に「まちなか再生総合プロジェクト(CAP)」をスタートさせました。様々な事業、イベントを行っているのですが、市の施策や様々な計画にCAPの精神を盛り込み、全庁的に取り込むべきと指

摘させて頂きました。市としては、今改訂中の都市計画マスタープランにも、CAPの精神を取り込んでいきたいとの答弁がありました。

他には、市商連からの要望にあった、ときわ商店街の街路灯・防犯灯については、確認したところ確かに暗い所があるので、商店街・町内会と連携して防犯灯を設置していきたいとの答弁を頂きました。

竹田 秀泰 議員



☆JRの日高線・室蘭線の維持困難路線について

両線のターミナル駅地の苦小牧市として、路線維持の今後の考え方を質し、まずは一市四町で検討を始めることと答弁がありました。

☆共同供養塔について 納骨方式や親族のいない方の取り扱いなどもっと親切に行うべきと質し、個々の状況もあり検討すると答弁がありました。

☆市営住宅の整備計画について 建て直しなど民間の活力を借りて早期実施の整備計画を立てるべ